

緊急 トップインタビュー

ライフブリッジ（仙台市）

代表取締役 櫻井 亮太郎さん(47)

新型コロナ対策と今後の見通しを各界トップに聞くシリーズ。今回は、訪日外国人誘客のコンサルタントとして全国にその名を知られ、ユーチューバーとしても活躍するライフブリッジ（仙台市）代表取締役の櫻井亮太郎さん(47)です。



—影響は。

2006年の創業以来、全国各地に招かれ、英語での接客が不慣れな飲食店や宿泊施設のスタッフらへの研修を担ってきました。特長は、音読するだけでネイティブに聞こえる独自の「カタカナ接客英語」。例えば「注文は以上ですか？」を意味する「Is that all?」は「伊豆ダロー？」と発音すればOKといった具合。楽しみながら学ぶことで、もてなす側の心のハードルを下げてきました。しかし、コロナで対面型研修は軒並み中止。オンラインに切り替え、やっと半分が復活しました。

海外へ今から観光情報を



—各地のPRにも尽力しています。

研修の成果を生かしてもらうにはインバウンドに来てもらわないといけないと2015年、動画投稿サイト「ユーチューブ」での発信を始めました。酒田市で英語指導助手(ALT)の経験がある人気英国人ユーチューバー、クリス・ブロードさんと東北を巡るシリーズは、チャンネル登録者が184万

新型コロナウイルス

ともに
乗り越えよう

人に達し、英語圏に「トウホク」を紹介する最強の媒体になりました。

—今後は。

コロナが終息したらどこを訪ねたいか尋ねた海外の調査で、日本は首位になりました。そこで、今なすべきは情報発信と具体的な商品化だと思います。その一歩として「宮城ワーケーション協議会」をつくり、共同代表に就きました。人が滞在すれば地域にお金は落ちます。コロナ禍をむしろ好機として日本人の余暇の過ごし方にイノベーションを起こし、地域をコロナ前よりも元気にしたいですね。

information

櫻井さんの動画も見られるライフブリッジのサイトは右のQRコードから。



企画・制作／河北新報社営業局